

所属	看護学部／臨床看護学系	職名	准教授	氏名	渡邊 智子
----	-------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

筑豊地域に住んで、Respect という Key 概念に出逢い、身体の動きが、暮らしぶりや価値観に影響していることを実感しました。行き着いた関心は、認知症があっても高齢者が健康な暮らしを送る上での支障となる不定愁訴を自ら管理する方法についてです。まず、高齢者が身体の動きをよくするための評価・介入する方法として、M-Test（身体の動きに伴って引き起こされる様々な症状を指標にして診断および治療を行うメソッド）の有用性を検討しています。M-Test を用いて、身体感覚に焦点をあて、ストレッチを行っていますが、健康サロンを継続して、3 年になりますが、高齢者の方々自ら、健康サロンを継続して行く動きが出てきました。そして、ツボ刺激について、わいわいがやがや意見を出し合って、学びを深めているところです。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

〈著書〉

安酸史子, 北川明, 江上千代美, 江上史子, 奥祥子, 小野美穂, 金城やす子, 小森直美, 清水 夏子, 田中美延里, 塚原ひとみ, 坪井桂子, 中嶋恵美子, 中富利香, 二井矢清香, 原田奈穂子, 伴佳子, 松枝美智子, 宮野香里, 安永薫梨, 山住康恵, 吉田恭子, 渡邊智子. 経験型実習教育- 看護師をはぐくむ理論と実践. 東京: 医学書院, 2015 年.

〈論文〉

吉田恭子,渡邊智子. 10 年後もその先も、住みたいところに住み続ける互助・共助：地域住民の支え合いを活用した支援プログラムの効果と課題. 認知症ケア事例ジャーナル 6(4),2014 年.

〈報告書〉

渡邊智子,吉田恭子. 老年看護学教育における経験型実習教育ツールの検討 臨床実習指導者のイメージ・マップを用いた臨床実習指導経験,日本看護学教育雑誌 24 巻学術集会講演集,2014 年.

②その他最近の業績

〈学会発表〉

- ・ 渡邊智子,吉田恭子. (2014). 老年看護学教育における経験型実習教育ツールの検討 臨床実習指導者のイメージ・マップを用いた臨床実習指導経験,第 24 回日本看護学教育学会学術集会,千葉.
- ・ 組坂由加里,押尾雅代,和田真由美,渡邊智子. (2014). 高齢者患者の「食べたいという意思」を尊重した看護ケアに向かう看護師の思い. 第 14 回福岡県看護学会,福岡.
- ・ 富田郁代,佐藤恭子,石井和久,高島真琴,組坂由加里,渡邊智子. (2015). 胃瘻造設患者が経口摂取出来るようになり、食事への喜びが取り戻せたプロセス. 第 15 回福岡県看護学会,福岡.
- ・ 津野静子, 中野徹, 麦原美喜子, 西田毅, 渡邊智子. (2015). 在宅生活を送る排便障害のある 認知症高齢者の排便コントロール. 筑豊看護学会, 飯塚.
- ・ 松枝美智子,松井聡子,江上史子,渡邊智子,村田節子,永嶋由理子. (2015). A 県内医療機関等の看護管理者による APN 教育のあり方に関する要望,第 35 回日本看護科学学会学術集会,広島.
- ・ 江上史子, 松枝美智子, 渡邊智子, 村田節子, 永嶋由理子. (2015). APN の雇用ニーズ調査: 看護管理者が雇用しない理由, 第 46 回日本看護学会-看護管理-学術集会, 福岡.
- ・ WatanabeTomoko,EgamiFumiko.(2015).The factors of continuing the volunteer activity that nursing undergraduates valued dialogue between elderly people, ICCHNR 国際地域看護学会, ソウル.
- ・ 岡野ひとみ, 白川あすか, 松岡晶子, 宝来和恵, 北澤明美, 今仁世都代, 舟越千絵, 渡邊智子. (2016). 上部消化管内視鏡検査を受ける高齢者への視覚媒体使用の有用性. 第 47 回日本看護学会-慢性期看護, 鳥取.

- ・梅木美恵, 迎田直美, 樋口絹代, 渡邊智子. (2016). 徘徊高齢者が住みなれた地域で暮らすための介護支援専門員の役割—徘徊高齢者支援の実態調査より—. 筑豊看護学会, 飯塚.
- ・渡邊智子, 御手洗裕子, 生駒 千恵, 石本 佐和子, 廣瀬 理絵, 江上 史子, 出口 敏江, 藤澤 美奈, 松枝 美智子. (2016). M-Test を活用した高齢者健康サロンでの看護師ヘルス・ボランティア活動, 第36回日本看護科学学会学術集会, 東京.
- ・御手洗裕子, 渡邊智子. (2016). 精神科病院の看護管理者による認知症高齢者の早期退院に向けた取り組みと今後の課題—看護倫理実践に向けた環境づくり—. 第26回日本精神保健看護学会. 滋賀.

〈資格〉

End-of-Life Nursing Education Consortium Trainer 【ELNEC - G179】 2013年8月.

③過去の主要業績

- ・渡邊智子. (2001). 痴呆症高齢者ケアの場における判断の構造. 兵庫県立看護大学大学院修士論文.
- ・渡邊智子. (2001). 中西睦子監修, 水谷信子編著「老人看護学」(担当箇所「閉じ困りがちな高齢者」), 62-71. 建帛社
- ・渡邊智子, 八島妙子, 茂野香おる, 井上映子, 杉田由加里, 酒井郁子, 吉本照子. (2006). 介護老人保健施設での看護・介護職者が有する倫理的ジレンマ—高齢者の生活リズムに調整に関して—, 第36回日本看護学会論文集—看護管理—, p392-p394.
- ・渡邊智子. (2010). 中西睦子監修, 安酸史子編著「実践成人看護学—慢性期」(担当箇所「第3部V肝硬変—希望を持って生きるための支援」), 143-154. 建帛社.

3. 外部研究資金

文部省科学研究費 挑戦的萌芽研究 高齢者の身体活動量維持のための M-Test を用いたセルフマネジメントに関する研究 3,640,000円 H27.4-H29.3.

5. 所属学会

日本老年看護学会, 日本看護科学学会, 日本看護学教育学会, 日本教師学学会, 日本地域看護学会 日本プライマリ・ケア連合学会 各会員

6. 担当授業科目

〈学部〉

ホリスティック人間論 1単位・1年・後期, 老年看護学実習Ⅰ 1単位・2年・通年, 老年看護学概論 1単位・2年・前期, 老年看護学 2単位・2年・後期, 老年看護学演習Ⅱ 1単位・3年・通年, 老年看護学実習Ⅱ 3単位・3年・通年, 専門看護学ゼミ 2単位・3年・通年, 老年看護学演習Ⅰ 1単位・3年・前期, 看護研究 2単位・3年・後期, 統合実習 2単位・4年・前期, 卒業研究 2単位・4年・後期

〈大学院〉

課題研究 4単位・修士1年・通年, 老年看護学特論 2単位・修士1年・前期, 老年看護学演習 2単位・修士1年・前期, 高齢者健康生活アセスメント論 2単位・修士1年・前期, 老年病診断治療学 1単位・修士1年・前期, 老年病診断治療学演習 1単位・修士1年・前期, 高齢者看護方法論 2単位・修士1年・前期, 高齢者地域・家族看護方法論 1単位・修士1年・後期, 高齢者保健医療福祉政策・ケアシステム論 2単位・修士1年・後期, 終末期高齢者看護論 2単位・修士1年・後期, 終末期老年看護実習Ⅰ 2単位・修士1年・後期, 終末期老年看護実習Ⅱ 3単位・修士1年・後期, 臨床看護学特別研究 8単位・修士2年・通年

7. 社会貢献活動

- ・ 筑豊市民大学「ヘルシーエイジングゼミ」アドバイザー
- ・ 田川市男女共同参画審議会委員
- ・ 田川市地域包括ケアシステム推進協議会（認知症支援部会）委員
- ・ 田川市高齢者保健福祉計画（第8次）有識者会議 委員

8. 学外講義・講演

- ・ 日本老年看護学会 認知症看護対応力向上研修 「高齢者の意思決定支援」10月
- ・ 福岡県看護連盟筑豊1支部研修会 講演 「入院中の高齢患者への日常生活支援の再考」11月

9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践教育センター研究員